

「広島神楽」定期公演へようこそ!

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

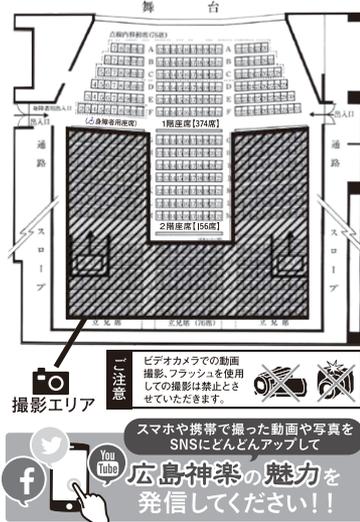
- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について

→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。



5月4日のタイムスケジュール

出演：有田神楽団（北広島町）

19:00～開演

19:05～第一幕『紅葉狩』

(およそ 40 分)

～幕間 (休憩)～

20:00～第二幕『八岐大蛇』

(およそ 40 分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。

本日の記念に是非ご参加下さい。
また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。
(舞台へは靴を脱いでお上がりください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

ありがたぐらだん

有田神楽団プロフィール ～山県郡北広島町～

有田神楽団の正確な起源は定かではありませんが、北広島町の南東部一帯の神社に奉仕している神職・井上家に伝わる古文書の中に1588年霜月の奥書にある「荒平の舞詩」という神楽台本があります。この神楽台本からして恐らく、戦国時代末期頃には、有田八幡神社を中心とした今日の有田神楽が演舞されたものと思われます。

現在の有田神楽団は、有田八幡神社を中心に氏子の人々により編成され、秋の収穫を祝福し、氏神様に感謝する神事として今日に伝承してきた神楽団です。神楽団員は、15歳から76歳まで26名おり伝承・挑戦をモットーに日々精進しております。

四季を通じて各地のイベントや招魂祭・氏神祭に招かれ神楽を上演・奉納しておりますが、まだまだ未熟でございます。

本日は、団員一同今ある力を十分に発揮し、頑張りますので、御声援宜しくお願いします。

第一幕『紅葉狩』（もみじがり）

平維茂は従者を引き連れて信濃国の戸隠山の山中で鹿追をしていました。その途中、上臈女房が木陰に幕を張り屏風を立てて、侍女とともに紅葉狩の酒宴を催している場所を通りかかります。維茂らは通り過ぎようとするのですが、それに気付いた上臈女房に誘われるまま宴に加わってしまいます。この世のものとは思えぬ美しさと酒を勧められ、つい気を許した維茂らは「夢ばし覚まし給うなよ」と言い残してその姿を消してしまいます。

やがて夢の中で八幡大菩薩のお告げを受け神剣を授かり驚いて目を覚ますと、今までそこにいた上臈たちは恐ろしい鬼神の姿で襲いかかってきますが、維茂らは南無八幡大菩薩と心に念じ神剣を抜いて鬼神を退治するという物語です。

【出演】	大太鼓 … 鍵 祐 太	平 維 茂 … 小 田 真 矢	更 科 姫 … 立 盛 翔 太
	小太鼓 … 森 脇 直 広	相 良 蔵 人 … 中 村 聡 志	松 姫 … 中 村 陽 一
	手打鉦 … 立 盛 稜	八 幡 大 菩 薩 … 大 本 昌 司	
	笛 … 隅 井 哲 雄		

第二幕『八岐大蛇』（やまたのおろち）

出雲の国に暮らす足名椎(あしなづち)・手名椎(てなづち)老夫婦には八人の娘がいました。しかし年毎に一人またひとりと大蛇に飲み取られ、七人まで娘を失いました。そしていよいよ八人目の娘が飲み取られる季節となり、老夫婦と八人目の娘・奇稲田姫(くしいなだひめ)は嘆き悲しんでいました。そこへ高天原(たかまがはら)から舞い降りた須佐乃男命(すさのおのみこと)が通りかかり、その訳を聞きます。

命は、大蛇退治を決め、老夫婦に八塩折(やしおり)の毒酒を造らせ酒を入れた樽の後に姫を立たせます。やがて、どこからともなく大蛇が現れ、毒酒に映った姫の影を飲み干していきます。酔いの回るほどに暴れ狂い、しだいに酔い伏してしまいます。これを待ち構えていた尊は、壮絶な戦いの末、大蛇を退治します。

大蛇の腹を切り裂くと、一本の刀が出てきます。これを天叢雲剣(あめのむらくものつるぎ)と名づけ、天照大神(あまてらすおおみかみ)に捧げます。そしてめでたく奇稲田姫を妻とし、平和で豊かな出雲の里で暮らしていくという物語です。

【出演】	大太鼓 … 鍵 祐 太	素 戔 鳴 尊 … 小 田 真 矢	大 蛇 … 立 盛 翔 太
	小太鼓 … 森 脇 直 広	足 名 椎 … 大 本 頼 雄	大 蛇 … 隅 井 秀 司
	手打鉦 … 中 村 陽 一	手 名 椎 … 中 村 弘 樹	
	笛 … 隅 井 哲 雄	奇 稲 田 姫 … 鍵 翔 太	